

静岡県 IoT 推進ラボの開設

【キーワード】 IoT、情報通信、インターネット、生産性向上、見える化

【はじめに】

IoT (Internet of Things) とは、あらゆるものがインターネットに接続されることを意味し、製造分野では、生産設備や製造工程の「見える化」や生産工程の省力化に役立つと期待されています。

しかしながら、県内中小企業の多くは、IoT の導入に関心を寄せているものの、費用対効果が見えない、自社のどこに導入すれば良いかわからない、対応できる人材がないなど課題を抱えているのが現状です。

そこで、静岡県では、最新技術を展示・体験する「展示体験室」と、実習やセミナー等を行う「研修室」の2室で構成される「静岡県 IoT 推進ラボ」を開設しました（令和元年 11 月 29 日）。

【施設の概要】

「展示体験室」では、機械の稼働状況の「見える化」や遠隔監視システム、後付 IoT 接続機器、予知保全システムなどを展示しています。展示機器は、常に最新の技術を体験できるよう公募により定期的に更新する予定です。

「研修室」は、主にワークショップ形式の実習に利用します。簡単な IoT 教材を用いた初心者向け実習や、現場の生産設備への接続を想定した中級者向け実習、AI を取り入れたビッグデータ解析など、企業の習熟度に応じて様々な実習を開催していきます。

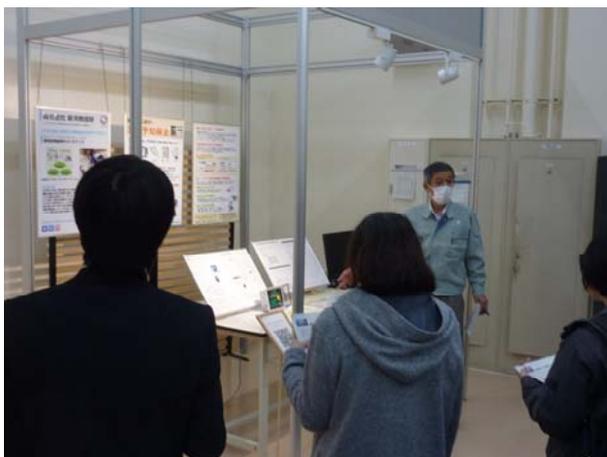


図1 静岡県 IoT 推進ラボ説明の様子



図2 実習用教材と研修室